

拝啓 入梅の候 皆さまには益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて 私こと
この5月末をもちまして関西経済連合会を退職いたしました。1971年4月、大学卒業とともに関経連事務局に就職し、44年余の長きにわたり勤めさせていただくことができました。これもひとえに皆さま方のご厚誼とご指導の賜物と心から厚く御礼を申し上げます。

この間、さまざまなテーマの調査研究やプロジェクト推進の仕事に携わり、60歳定年で理事を退任する少し前からは株式会社けいはんなの社長を務めました。一昨年の7月には関経連事務局に戻り、非常勤の参与として自由に時間を使えることになり、私のライフワークとなった国と地方の行財政制度や地方分権改革について、関経連設立以来の取り組みの歴史を、国や自治体の動きとともに整理する作業を行って参りました。その成果として、このたび『**関経連と道州制 70年の歩み～行政改革・広域行政・地方分権のために～**』と題する資料が関経連から発行されました。

本資料の執筆を通じて、関経連内外の実に大勢の皆さまから公私を交えてご指導ご鞭撻をいただいたご縁を思い起こし、あらためて感謝の思いを強くしている次第であります。あとがきに書きましたように私の「自分史」も兼ねた資料として、ここに同封ご送付申し上げます。パラパラとご覧いただき、ご意見・ご批評など賜りますれば誠に幸いと存じます。

なお、退職後について特段の計画はありませんが、老後生活を考えてまずは本年3月に、私の生まれ育った大阪船場の町に近い下記マンションに転居をいたしました。お近くにお越しの節はぜひお声掛けをください。

本来であればいちいち御礼を申し上げるべきところ、略儀ながら書中をもちまして退職ならびに資料送付のご挨拶とさせていただきます。また機会があればお目にかかりたいと存じますが、長いあいだ本当にありがとうございました。

敬具

2014年6月吉日

栗山和郎